

風水害における児童・生徒の登下校等について

みよし市教育委員会

気象庁による新しい防災気象情報の運用が開始されたため、今後は、以下のように対応します。

<気象台が発表する防災気象情報が発令された場合>

	警報の種類		児童・生徒の登下校等の対応について	
			自宅にいる場合	学校にいる場合
気象台が発表する防災気象情報	特別警報	暴風・大雪・ 暴風雪・波浪	・自宅待機 (みよし市からの指示に従い、直ちに命を守る最善行動をとります)	・校内待機
	警報	暴風・暴風雪	・自宅待機 ・午前6時を過ぎてもみよし市に 特別警報・警報が継続 → 授業は中止 ・午前6時までのみよし市の 特別警報・警報が解除 → 平常どおり授業を実施	・校内待機 または ・保護者による引き渡し等
	警報	大雪・波浪	・平常登校 (下記 ※1、※2もご確認ください)	・平常授業 (下記 ※1、※2もご確認ください)
	注意報	大雪・強風・その他		
	レベル5 特別警報	大雨・氾濫・ 土砂災害・高潮	・自宅待機 (みよし市からの指示に従い、直ちに命を守る最善行動をとります)	・校内待機 (校内の高い場所または崖から離れた場所に移動します)
	レベル4 危険警報		・自宅待機 (早めの避難を考慮します) ・午前6時を過ぎてもみよし市に レベル4危険警報が継続 → 授業は中止 ・午前6時までのみよし市の レベル4危険警報が解除 → 平常どおり授業を実施	・校内待機 または ・保護者による引き渡し等
	レベル3 警報		・平常登校 (下記 ※1、※2もご確認ください)	・平常授業 (下記 ※1、※2もご確認ください)
	レベル2 注意報			

※1 授業を行う場合でも、登校することが危険な場合は、登校する必要はありません。

※2 上記の対応を原則としますが、児童・生徒の安全が確認できない場合、授業を中止したり、学校待機にしたりする等、上記とは異なる対応をとる場合もあります。その時は、絆メールで配信します。

新しい防災気象情報(令和 8 年5月下旬から運用開始予定)

○主な変更について

- ・ 防災気象情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)を5段階の警戒レベルにあわせて発表をする。
- ・ レベル4相当の情報として危険警報を新設。
- ・ すべての情報が「レベル〇〇+現象名」で統一される(例:レベル4大雨危険警報 等)
- ・ 対象外の分野の特別警報・その他の警報は従来どおり(レベルの数字はつかない)

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! >					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

○ 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

- ・ 警戒レベル相当情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わらない。
- ・ これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、警戒レベルには相当しない。

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、 濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪